

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード

(心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 「古い経験」は技術革新時代でも宝の山だ 柳川 範之(東京大学大学院教授)

- 現代が技術革新の時代であることは多くの人々が認めるところだろう。しかし、新しい技術「だけを」重要視することの危険性も見えてくる。例えば、シニアの人たちがプログラミングを一から学んでも、その分野を以前から学んでいる若い世代と比べて、競争力のあるパフォーマンスを示すことは難しいだろう。それよりも、現実的であり生産的なのは、今までの経験をどう新しい技術環境の下で生かすかを考えることだ。
- つまり経験をどうデジタル環境に生かすかは、個人にとってだけでなく企業にとっても大事なのだ。この点は企業レベルだけでなく、日本経済全体にとっても大きなポイントである。また、単にアナログ的な経験をどうデジタル化に生かしていくかだけでなく、古い技術環境で蓄積された知見を、どう新しい環境で生かしていくか、武器にしていけるかも大きなポイントであろう。
- 古い時代の経験はどうしても新しい時代や新しい技術環境では意味のないものと考えられがちだ。だが、馬具製作の経験がかばんを作るのに生かされたり、写真ファイルの経験が化粧品の開発に生かされたりと、それまでの経験や知見が新しい環境で生かされた例は少なくない。重要なのは新しい環境に合わせてその経験や知見をどう変容させるかの工夫だ。

(参考:「週刊東洋経済」2024年9月14日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 天地の働きを無にしない

#### 田口 佳史(東洋思想研究家)

- 『易経』を読んでまず感じるのは、何とかこの世を健全な状態に保とうと懸命に努力を続けている「天と地」の姿です。天の働きは天地開闢以来一刻として休むことなく、この世を健全に保ち続けるために、精神的で動的な働きを続けているのです。広島と長崎の原爆による被害は、これ程の非人間的行為はないと言わざるを得ません。
- しかし記録を読むと無残極まりない廃墟の街にも、数ヶ月後には何と野草の新芽の緑が見られ、人々の心を癒したとあります。天地の懸命な働きによる私たち人間に対する励ましと思うと、人間の傲慢さが無性に恥ずかしくなります。人間が謙虚になり、天地の働きを無にするようなことをしなくなれば、異常な暑さも止まるでしょう。

(参考:「致知」2024年11月号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 失敗を認め、成長する

#### 吉田 直樹(ドン・キホーテ社長)

- 2024年6月期の連結決算で売上高が初めて2兆円を突破し、35期連続の増収増益を達成した。35期増収増益を続けられたのは、失敗を認めてきたからです。果敢なる挑戦をし、失敗したら速やかに撤退する。それが創業者の安田隆夫(創業会長兼最高顧問)の哲学です。小売業で極めてイレギュラーで、かつ重要な経営判断は商品と店舗の減損です。他の会社よりも単年度の減損は大きいと思います。それでも増収増益を重ねられている。チャレンジして速やかに撤退し、良いものだけ残していくことに、私は忠実でありたい。
- 際立っているのは個の力です。従業員の一部が頑張っているのではなく、大多数の人が経営に参画している。過去のネガティブなことをポジティブな力に変えている。それが私の未来に対する楽観的な見方につながっています。

(参考:「日経ビジネス」2024年9月9日号)

## 古典に学ぶ

### 方便とは行動であり手段

- 菩薩は、悟りを得て彼岸(あの世)に渡れる身でありながら、此岸(この世)に留まって修行する存在です。菩薩の根本には、皆が救われなければ心穏やかでいられないという思いがあります。
- そのために、行動を起こすのが菩薩という存在だと、空海はいうのです。方便というと、「嘘も方便」を思い出す人もいるでしょう。ここでは行動であり、手段だと捉えていただくといいでしょう。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)